

# 2023年度 国際交流基金地球市民賞 応募ガイドライン

The Japan Foundation Prizes for Global Citizenship 2023 Guideline

地域から世界へ、  
世界を身近に



みなさまからのご応募をお待ちしております（自薦・他薦問わず最大5件まで）

授賞件数

3件以内

応募締切

2023年7月28日（金）（郵送の場合は当日消印有効）

授賞内容

正賞（賞状）と副賞（1件200万円）

発表

2024年1月中旬  
国際交流基金ウェブサイトにて発表

お問合せ  
送付先

国際交流基金 広報部 地球市民賞事務局 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーセ  
Tel 03-5369-6075 Eメール chikyushimin@jpf.go.jp

応募ガイドライン  
応募用紙

<https://www.jpf.go.jp/j/about/citizen/guideline/>



# 2023年度国際交流基金地球市民賞 受賞候補団体を募集します

国際交流基金地球市民賞(以下、地球市民賞)は、1985年に創設され、本年度で39年目を迎えます。全国各地で国際文化交流活動を通じて、日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、互いの知恵やアイデアを交換し、ともに考える団体を応援します。これまでに118の団体等が受賞され、さらなる飛躍のきっかけとなるとともに、地域の活性化、地方創生にも貢献しています。

## 【地球市民賞の概要】

対象となる団体	公益性の高い国際文化交流活動を行っている日本国内の団体 ※団体の法人格は問いませんが、地方自治体は対象となりません。
活動例	<ul style="list-style-type: none"><li>● 日本と海外をつなぐ文化・芸術の交流を通じて、豊かで活気のある地域やコミュニティをつくる活動</li><li>● 外国人の多様な文化(言語教育を含む)を理解、尊重し、ともに豊かで活気のある地域やコミュニティを築いていこうとする活動</li><li>● 共通の関心や問題意識を通じ、日本と海外の市民同士の連携や相互理解を深める活動</li></ul> など
選考のポイント	<ol style="list-style-type: none"><li>1 先進性 国際文化交流の一つのモデルとして、他の団体の参考となる活動であること</li><li>2 独自性 独自のアイデアを活かした活動であること</li><li>3 継続性 少なくとも3年以上、着実な活動をしてきていること</li><li>4 将来性 今後も着実に活発な活動が継続されることが見込まれること</li><li>5 社会に対する影響力 社会的な広がりや浸透力のある活動であること</li></ol>

## 応募方法

全国より、自薦/他薦にて広く募集します。

下記ウェブサイトより応募ガイドライン・応募用紙(Microsoft Word形式、PDF形式)をダウンロードし、必要事項をご記入の上、Eメール、郵送にてご応募ください。

応募ガイドライン・応募用紙

<https://www.jpf.go.jp/j/about/citizen/guideline/>



件数 お一人／一団体、最大5件までご応募いただけます。

締切 2023年7月28日(金)〈郵送の場合は当日消印有効〉

お問い合わせ：送付先

国際交流基金 広報部 地球市民賞事務局  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーセ  
Tel 03-5369-6075  
Eメール [chikyushimin@jpf.go.jp](mailto:chikyushimin@jpf.go.jp)

※1団体につき1件の応募・推薦とします。

事業単位ではなく、団体としてご応募、ご推薦ください。

※応募用紙は2023年度版をお使いください。

※応募用紙受理後、内容確認のため担当者よりご連絡を差し上げる場合があります。

※応募用紙をダウンロードできない場合は、事務局までご請求ください。

※選考の参考となる資料があれば添付、もしくはご郵送ください。

ご提出いただいた書類及び資料は返却いたしませんので、ご了承ください。

## 受賞団体の発表

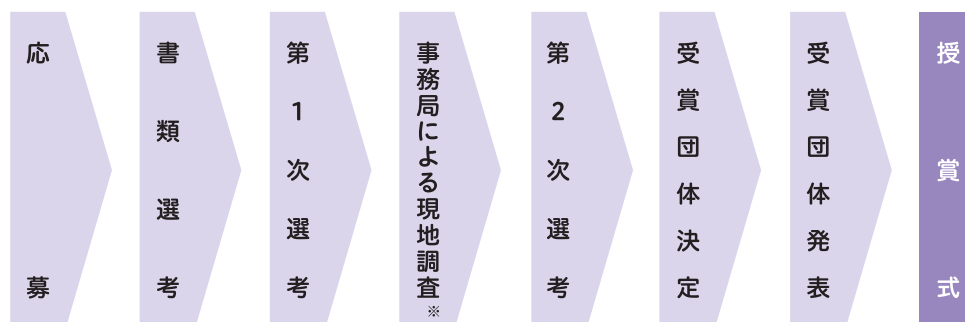
2024年1月中旬に国際交流基金ウェブサイトにて発表します。

※ご応募いただいた皆様には、Eメールまたは書面にて結果を通知いたします。

※授賞式は、2024年2月下旬に開催を予定しております。

受賞団体には、正賞(賞状)ならびに副賞(1件200万円)を贈呈いたします。

## 選考のプロセス



※事務局によるwebインタビューになる場合があります。

## 2022年度受賞団体の紹介

※授賞理由、受賞団体のコメントは授賞時のものです。

受賞団体の  
活動紹介動画



### 特定非営利活動法人 アレッセ高岡

#### 多様性を地域の力に 外国人散在地域における多文化共生のモデル的活動

(富山県高岡市)



##### ■授賞理由

アレッセ高岡とは、外国ルーツの青少年が、日本とルーツ国の架け橋や地域社会の一員として活躍する人材となるよう、学習支援などの事業を推進する団体である。高岡市では1990年頃より多くの外国人労働者を受け入れており、外国ルーツの子どもたちが日本の学校で学ぶようになった。さまざまな課題解決を目指し、2010年に同団体が設立された。2020年度からは、こうした外国ルーツの子どもの「支援」という枠組みを超え、地域のすべての人々が互いの違いを理解・尊重し、多様性を真に受けとめる市民となっていくような教育プログラムを展開。外国人散在地域であるだけに実務的課題は多いが、多文化共生社会の実現に向けて努力を重ね、地域活性化にも貢献している。

##### ■受賞団体のコメント

人も金も不足し保守的な地方、しかも、外国ルーツの子どもの存在自体なかなか認識されない外国人散在地域。全く光が当たらない暗闇の中で、ただただ子どもたちの可能性を信じて活動を続けてきました。そんな私たちの活動に地球市民賞が光を照らしてくれたと感じています。それは、外国ルーツの子どもたちの可能性を照らす光でもあると思います。受賞をきっかけに、多様な子どもたちが市民として切り拓く、自らの、そして、地域の未来への視座を、地域の多くの人と共有したいと思います。

### 特定非営利活動法人 Peace Culture Village

#### テクノロジーと若者の参画で 平和の尊さを後世につなぐ

(広島県広島市)



##### ■授賞理由

世界から広島を訪れる人々への平和ガイドや対話プログラムを提供するPeace Culture Villageは、原爆投下から77年が過ぎ、多くの団体が語り部の高齢化や組織の維持に悩むなか、オンラインツアーやXRといったテクノロジーを活用し、若い世代も参画する新たな取り組みを展開してきた。コロナ禍で経営的にも危機を迎えるなか、広島を直接訪れることができない人に何ができるかをスタッフたちが考え、旅行会社と連携しオンラインツアーや授業を企画。また若者が有償で仕事として参画するしくみを構築し、平和文化の分野に留まらず、これからの国際交流活動のあり方にも新たな可能性を示している。

##### ■受賞団体のコメント

この度は名誉ある賞へ選定を頂きありがとうございます。私たちに「地球市民」という概念は大きなものです。被爆者の田中稔子さんが私達へ「世界中に友達を作ってください」と伝えてくれます。「もしも世界中に友達がいたら、戦争が起きた時に友達の顔が浮かぶでしょう。その時に平和が自分ごとになる」と。「世界中へ友達を作る」は大きな夢ですが、地球市民の立場で友達と力を合わせ、より良い未来を創造していきたいと思います。

### 特定非営利活動法人 地域サポートわかさ

#### ともに考え、住民の活動を 創造的に後押しする地域づくりの要

(沖縄県那覇市)



##### ■授賞理由

地域サポートわかさは、沖縄県那覇市若狭地域で住民主体のコミュニティ形成を担うNPO法人である。住民の宝である那覇市若狭公民館の民営化に際し、管理運営を担うべく近隣住民が協力して2005年に設立。住民自治を尊重し、地域住民の自発的な活動を後押しする一方、アーティストとの協働などユニークな視点で企画する質の高いプログラムや細やかな情報発信に定評があり、全国的にも注目の存在となっている。

「誰一人取り残さない」をモットーに、地縁組織に属さないひとり親世帯やさまざまな家庭環境にある子どもたち、在留外国人も意識し、セーフティネットの役割も果たす。近年は増加するネパール人住民の活動も支援し、住民との交流と相互理解に一役買っている。

##### ■受賞団体のコメント

この度は、栄えある国際交流基金地球市民賞に選考いただき感謝申し上げます。若狭公民館開館30周年の記念の年にこのような大きな賞をいただき、喜びもひとしおです。

「誰一人取り残さない地域社会の実現」を目指して、多くの機関・団体、そして地域住民の皆さまと共に学び合いながら日々模索しています。協働パートナーとの喜びの分かち合いを励みとしながら、さらに前進できるよう尽力していきます。





## 最近の受賞団体(2017～2022)

年度	団体名	活動内容
2022	特定非営利活動法人 アレッセ高岡	外国ルーツの青少年への学習支援事業に加え、地域の人々が互いの違いを理解・尊重し、多様性を真に受けとめる市民性教育プログラムを展開。実務的に課題の多い外国人散在地域において、多文化共生社会の実現に向け努力を重ね、地域活性化にも貢献している。
	特定非営利活動法人 Peace Culture Village	世界から広島を訪れる人々への平和ガイドや対話プログラムを提供。XRといったテクノロジーの活用や、若い世代が有償で仕事として参画するしくみを構築するなど、国際交流活動のあり方にも新たな可能性を示している。
	特定非営利活動法人 地域サポートわかさ	那覇市若狭地域で住民主体のコミュニティ形成を担う。地域住民の自発的な活動を後押しする一方、アーティストとの協働や細やかな情報発信を行う。近年は増加するネパール人住民の活動も支援し、地域における多文化共生の実現にも貢献している。
2021	一般社団法人 エル・システムジャパン	南米ベネズエラ発祥の音楽教育プログラム「エル・システム」を日本で展開。東日本大震災被災地等を中心に、音楽を通じて子どもたちが世界とつながり、自分に自信を持つよう工夫された活動であり、同時に地域活性化にも貢献している。
	学校法人 ムンド・デ・アレグリア学校	静岡県浜松市に数多く来日する南米からの子どもたちに向けて、日本と母国の両方に対応した教育を受けられる外国人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」を設立。国籍や年齢等にかかわらずダイバーシティ社会実現への一助となっている。
	特定非営利活動法人 名古屋難民支援室	名古屋難民支援室は、東海地域に暮らす難民が法的に保護され、安定して自立した生活を送れるよう支援を行っている。食料支援や地域での定着支援など、難民一人ひとりに寄り添いながら、より良い多文化共生社会の実現にも貢献している。
2020	高田馬場さくらクリニック	外国にルーツを持つスタッフと協働し、外国人住民が気軽に通えるまちのクリニックを開院、運営。受診者に寄り添い、外国人住民の予防医療やスタッフの人材育成にも尽力。持続性のある多文化共生への貢献を行っている。
	特定非営利活動法人 海外に子ども用車椅子を送る会	利用されなくなった子ども用車椅子を回収し、整備している。活動を支える老若男女の約半数は日本で生活する外国人であり、活動が国際交流の場にもなっている。届けた後の整備など、継続的な取り組みの体制をしっかりと構築している。
	特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋	「生きることは表現」をテーマに、労働者のまち大阪市西成区釜ヶ崎で、様々な背景の人々に出会いと表現の場を開き、社会との関わりを後押しする。海外の同種の団体やアーティストとの交流にも活動の幅を広げている。
2019	四日市市立西笹川中学校多文化共生サークル	西笹川中学校は外国にルーツを持つ生徒が3割を占める。「多文化共生サークル」は中学生が主体となって防災行事や夏祭り、文化祭等、地域のイベントに密接に関わりながら、多文化共生のまちづくりに参画している。
	特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド	「心身ともに健全な育成」という理念に基づき、被災地や紛争地および開発途上国の子どもたち、障がい者、貧困層の人々に対して、体育教育支援や養護施設・青少年人材の育成を目的とした日本語教室の運営、県内各所と連携した交流を行っている。
	国際児童・青少年演劇フェスティバル おきなわ実行委員会	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ（通称「りっかりっか＊フェスタ」）は、豊かな芸術体験は「ヌチグスイ＝命の葉」との考えから、子どもたちや地元の人々が独創的で上質な世界中の舞台公演に気軽に触れる機会を長年提供している。
2018	小松サマースクール実行委員会	石川県小松市で毎年開催される高校生のためのサマースクール。日米の大学生が企画や運営のほぼ全てを行っている。高校生たちが多様な年代や文化背景を持つ人たちと出会い、国際交流の価値に触れる取り組みとなっている。
	一般社団法人 グローバル人財サポート浜松	独自のカリキュラムや教材を開発し、介護の現場で必要な日本語や技能の指導を行い、定住外国人の就労支援を行なっている。学生の社会貢献活動の支援や、浜松市内の介護事業者の組合活動など、多岐にわたる活動を行っている。
	特定非営利活動法人 パンゲア	ICT技術を使い、世界中の子どもたちが出会い、コミュニケーションできるプラットフォームを運営している。「ピクトン」という絵文字や機械翻訳「げんごろう」を開発、使用言語による序列化を起こさない姿勢を貫いている。
2017	芝園団地自治会	住民の4割を超える外国人住民と日本人住民の生活習慣の違いから生じる溝を埋めるべく、学生団体「芝園かけはしプロジェクト」と協働し「多文化共生の地元づくり」を推進している。
	特定非営利活動法人 Nagomi Visit	海外から訪れる人々が日本で「ホームビジット」体験ができるよう、訪問者と一般家庭のマッチングを行っている。日本の一般家庭で家庭料理を食べながら2、3時間の気軽な国際交流を行うこの活動は年々広がりを見せている。
	特定非営利活動法人 黄金町エリアマネジメントセンター	横浜市初黄・日ノ出町地区を主な活動エリアとし、地域・行政・警察・大学・アーティスト等と連携しながら、アートを通じて創造的で特色ある「界限」の形成を進めている。

## 中国地方

- 〈鳥取県〉  
●特定非営利活動法人 鳥の劇場 [2011]  
●智頭町活性化プロジェクト集団 [1995]  
〈島根県〉  
●特定非営利活動法人 あしぶえ [2002]  
〈岡山県〉  
●特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド [2019]  
〈広島県〉  
★特定非営利活動法人 Peace Culture Village [2022]  
●広島アジア文化会館 [1988]

## 四国地方

- 〈徳島県〉  
●特定非営利活動法人 グリーンバレー [2009]  
〈香川県〉  
●公益社団法人 セカンドハンド [2004]  
〈愛媛県〉  
●特定非営利活動法人  
えひめグローバルネットワーク [2007]  
〈高知県〉  
●Genki 青年会 [2005]  
●高知市立高知商業高等学校生徒会 [2002]

## 近畿地方

- 〈三重県〉  
●四日市市立西笹川中学校多文化共生サークル [2019]  
●財団法人 大内山塾 [1988]  
〈滋賀県〉  
●東近江大風保存会 [2001]  
〈京都府〉  
●特定非営利活動法人 パンゲア [2018]  
●特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス [2012]  
●特定非営利活動法人  
ジャパン・コンテンツ・ダンス・ネットワーク(JCDN) [2006]  
●財団法人 母と学生の会 京都支部  
「国際女子留学生センター」 [1987]  
●公益財団法人 京都「国際学生の家」 [1985]  
〈大阪府〉  
●特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋 [2020]  
●公益財団法人 山本能楽堂 [2015]  
●社会福祉法人 こころの家族  
特別養護老人ホーム故郷の家 [2001]  
●特定非営利活動法人 多文化共生センター  
(旧・外国人地震情報センター) [1995]  
●特定非営利活動法人 関西国際交流団体協議会 [1994]  
●公益社団法人 アジア協会アジア友の会 [1986]  
〈兵庫県〉  
●特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター [2015]  
●特定非営利活動法人 プラス・アーツ [2014]  
●特定非営利活動法人 ダンスボックス [2010]  
●特定非営利活動法人 芸術と計画会議(C.A.P.) [2007]  
●特定非営利活動法人 たかとりコミュニティセンター [2002]  
●神戸クロスカルチャラルセンター [1991]  
●公益財団法人 PHD協会 [1988]  
〈奈良県〉  
●特定非営利活動法人 なら国際映画祭実行委員会 [2014]  
●一般財団法人 たんばぼの家 [1994]

## 東北地方

- 〈青森県〉  
●特定非営利活動法人  
ジュニア・グローバル・トレーニングスクール [2006]  
〈岩手県〉  
●陸前高田市国際交流協会(理事長特別賞) [2011]  
●藤沢町国際交流協会 [1998]  
●財団法人 岩手国際理解推進協会 [1992]  
〈宮城県〉  
●国際交流協会ともだちin名取(理事長特別賞) [2011]  
●特定非営利活動法人  
国際都市仙台を支える市民の会(ICAS) [1997]  
〈秋田県〉  
●秋田県国際交流をすすめる婦人の会「わびえ」 [1995]  
〈山形県〉  
●戸沢村国際交流協会 [2004]  
●特定非営利活動法人 IVY [1996]  
●置賜百姓交流会 [1993]  
●庄内国際交流協会 [1990]  
〈福島県〉  
●ノルテ・ハボン(コスキン・エン・ハボン開催事務局) [2016]  
●特定非営利活動法人 ザ・ピープル(理事長特別賞) [2011]

## 中部地方

- 〈新潟県〉  
●ミティラー美術館 [1998]  
●アース・セレブレーション実行委員会 [1994]  
〈富山県〉  
★特定非営利活動法人 アレッセ高岡 [2022]  
●スキャキ・ミーツ・ザ・ワールド実行委員会 [2008]  
●いなみ国際木彫刻キャンプ実行委員会 [1999]  
●一般社団法人 富山県芸術文化協会 [1990]  
●劇団文芸座 [1985]  
〈石川県〉  
●小松サマースクール実行委員会 [2018]  
●金沢を世界へひらく市民の会 [1987]  
〈福井県〉  
●武生国際音楽祭推進会議 [2003]  
〈長野県〉  
●社団法人 長野国際親善クラブ [1993]  
●いいだ人形劇フェスタ実行委員会 [1991]  
〈岐阜県〉  
●特定非営利活動法人 ブラジル友の会 [2011]  
●アーティスト・イン・レジデンス  
「美濃・紙の芸術村」実行委員会 [2003]  
〈静岡県〉  
●学校法人 ムンド・デ・アレグリア学校 [2021]  
●一般社団法人 グローバル人財サポート浜松 [2018]  
●特定非営利活動法人浜松NPOネットワークセンター [2009]  
〈愛知県〉  
●特定非営利活動法人 名古屋難民支援室 [2021]  
●公益財団法人 豊田市国際交流協会 [2001]  
●とこなめ国際やぎもの  
ホームステイ実行委員会 [1997]

## 九州地方

- 〈福岡県〉  
●特定非営利活動法人 アジア女性センター [2007]  
●特定非営利活動法人  
アジア・太平洋こども会議イン福岡 [1992]  
〈佐賀県〉  
●玄海人クラブ [2000]  
●特定非営利活動法人 地球市民の会 [1989]  
〈長崎県〉  
●長崎国際交流塾 [2004]  
●長崎県世界青年友の会(面白ちゃん倶楽部) [1996]  
〈熊本県〉  
●一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団 [2016]  
●特例社団法人 熊本たけのこ会 [1993]  
〈大分県〉  
●国立大分工業高等専門学校  
足踏みミシンボランティア部 [2012]  
〈鹿児島県〉  
●硫黄島地区会 [2016]  
●太鼓集団 蒲生郷太鼓坊主 [1997]  
●特定非営利活動法人 からいも交流 [1986]  
〈沖縄県〉  
★特定非営利活動法人 地域サポートわかさ [2022]  
●国際児童・青少年演劇フェスティバル  
おきなわ実行委員会 [2019]  
●特定非営利活動法人  
アメラジアンスクール・イン・オキナワ [2014]  
●琉球国祭り太鼓 [1999]

## 北海道

- 〈北海道〉  
●特定非営利活動法人 雪合戦インターナショナル  
[2013]  
●特定非営利活動法人 S-AIR [2008]  
●特定非営利活動法人 チェルノブイリへのかけはし  
[2005]  
●北方圏国際シンポジウム実行委員会 [2003]  
●江差追分会 [2000]  
●札幌こどもミュージカル育成会 [1998]  
●北海道国際女性協会 [1989]  
●一般財団法人 北海道国際交流センター [1985]

## 関東地方

- 〈茨城県〉  
●特定非営利活動法人 自然生クラブ [2009]  
●浅賀正治(個人) [2005]  
●「茨城アジア教育基金」を支える会 [1992]  
●高萩市国際交流協会 [1986]  
〈栃木県〉  
●栃工高国際ボランティアネットワーク [2000]  
●いっくら国際文化交流会 [1991]  
●学校法人 アジア学院 [1989]  
〈群馬県〉  
●特定非営利活動法人  
大泉国際教育技術普及センター [2008]  
●からす川音楽集団 [1995]  
〈埼玉県〉  
●芝園団地自治会 [2017]  
●特定非営利活動法人 メイあさかセンター [1996]  
〈千葉県〉  
●浦安市国際交流協会 [1990]  
●財団法人 京葉教育文化センター [1987]  
〈東京都〉  
●一般社団法人 エル・システマジャパン [2021]  
●高田馬場さくらクリニック [2020]  
●特定非営利活動法人 海外に子ども用車椅子を送る会 [2020]  
●特定非営利活動法人 Nagomi Visit [2017]  
●特定非営利活動法人 Peace Field Japan [2015]  
●特定非営利活動法人 難民支援協会 [2012]  
●特定非営利活動法人 かものほしプロジェクト [2011]  
●特定非営利活動法人 アクション [2010]  
●特定非営利活動法人 多文化共生センター東京 [2006]  
●財団法人 おはなしきやばんセンター [1999]  
〈神奈川県〉  
●特定非営利活動法人 黄金町エリアマネジメントセンター [2017]  
●特定非営利活動法人 BankART1929 [2013]  
●特定非営利活動法人 多言語社会リソースかながわ  
(MICかながわ) [2013]  
●多文化まちづくり工房 [2010]